

2016年度 久留米市内単位互換協定校による

「共同講義」 開講のお知らせ

受講料
無料

テーマ「久留米のまち・ひと・しごと創生」

久留米市では、市内にある5つの大学等が単位互換協定を締結したことにより、毎年多数の科目が公開され、学生の皆さんが他の大学等の講義を履修した場合に、所属する大学等の単位として認定ができるようになりました。

この単位互換の一環として、単位互換協定に参加している5つの大学等と久留米市とが連携して、毎年一つのテーマを設定し、各校の個性や特色を活かした講座を開講する「共同講義」を実施しています。

今年度は、「久留米のまち・ひと・しごと創生」をテーマに、市民公開の共同講義として以下のように開講します。様々な視点から学ぶことができる貴重な機会ですので、意欲と関心のある学生・市民の皆様の多数の参加をお待ちしています。

日時▶ 2016年 10月4日～11月29日 18:30～20:00

会場▶ くるめりあ六ツ門 6F みんなる会議室1・2 (久留米市六ツ門町3-11)

主催▶ 高等教育コンソーシアム久留米 **共催**▶ 久留米学術研究都市づくり推進協議会

後援▶ 久留米市市民活動サポートセンターみんなる

10/4 久留米大学 経済学部 教授 世利 洋介 (火) 久留米におけるまちづくり-コンパクトシティを目指して-	11/8 久留米大学 経済学部 講師 藤谷 岳 (火) 再エネで地域を元気に！-事例に学ぶエネルギー転換の意義と課題-
10/7 久留米信愛女学院短期大学 幼児教育学科 講師 生地 篤 (金) 成年後見制度と障害者権利条約	11/11 久留米工業大学 工学部 准教授 渋谷 秀雄 (金) 我々の生活を支える精密・微細加工
10/11 久留米信愛女学院短期大学 ビジネスキャリア学科 講師 西田 明紀 (火) これからの働き方とライフデザイン	11/15 久留米工業大学 工学部 教授 吉谷 修 (火) 南筑私学校柔道師範“西郷四郎”の足跡を辿って
10/14 聖マリア学院大学 看護学部 講師 石本 祥子 (金) 仕事とコミュニケーション	11/18 久留米工業大学 工学部 教授 佐々木 良勝 (金) 多面体と折り紙の数理
10/18 久留米市 市民文化部 久留米シティプラザ総務課 山田 進一郎 (火) 久留米シティプラザについて	11/22 久留米信愛女学院短期大学フードデザイン学科 准教授 生地 暢 (火) 自然の活かし方を考えてみよう
10/21 久留米工業高等専門学校 一般科目理科系 教授 松田 康雄 (金) 久留米の和算	11/25 聖マリア学院大学 看護学部 講師 井手 悠一郎 (金) エビデンスを作る調査研究とそれを支える統計手法
10/25 久留米工業高等専門学校 一般科目文科系 講師 藤木 篤 (火) 久留米を中心とした日本住血吸虫病対策史とその今日的意義 :「地方病」から「顧みられない熱帯病」へ	11/29 聖マリア学院大学 看護学部 講師 小浜 さつき (火) 久留米市の健康な街づくり 脳卒中を予防しよう!
10/28 久留米大学 非常勤 河内 俊英 (金) 地域の資源を生かした健康都市づくりを目指す	

全15回の講義を行います
(※講義詳細は裏面をご覧ください)

※ 申し込み期間：9月8日(木)～各講義当日まで

申込・お問い合わせ先 ※ 学生の皆さんの履修や出願手続き等については所属校の窓口にお問い合わせください。(裏面に記載)

高等教育コンソーシアム久留米 サテライト・キャンパス事務局 〒830-0031 久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6F
TEL・FAX: 0942-32-7622 E-mail: info@consortium-kurume.jp
ホームページアドレス: http://consortium-kurume.jp/

開催日	講師名 / 演題	講義内容
10/4 (火)	久留米大学 経済学部 教授 世利 洋介 久留米におけるまちづくり - コンパクトシティを目指して -	人口減少と高齢化の潮流にあって、久留米のまちは今後、どのような方向に向かうのでしょうか。人口動態、都市計画、財政需要等の動向を踏まえて、今日的なまちづくりの潮流である「コンパクトシティ」を久留米市が目指す場合の問題点と課題を中心に話します。
10/7 (金)	久留米信愛女学院短期大学 幼児教育学科 講師 生地 篤 成年後見制度と障害者権利条約	高齢社会である我が国において、成年後見制度の利用促進は緊急の課題です。成年後見制度の動きや2014年の障害者権利条約批准に伴う当制度への影響を検討します。
10/11 (火)	久留米信愛女学院短期大学 ビジネスキャリア学科 講師 西田 明紀 これからの働き方とライフデザイン	社会の変化とともに、私たちの働き方やライフスタイルの価値観などがますます多様化しています。就職活動だけでなく、もっと長いスパンでの働き方やライフデザインについて、考えてみましょう。
10/14 (金)	聖マリア学院大学 看護学部 講師 石本 祥子 仕事とコミュニケーション	日本の約8割の企業が、学生に求める能力の一つに「コミュニケーション能力」があります。グローバル化の進展に伴って、文化や価値観、意見が異なる人とコミュニケーションを図りながら、仕事に取り組むことができるのか、就職活動をする学生は問われています。
10/18 (火)	久留米市 市民文化部 久留米シティプラザ総務課 山田 進一郎 久留米シティプラザについて	平成28年4月に開館した久留米シティプラザを活用した、市民の文化芸術鑑賞機会等の充実、広域的な交流の促進、街なかの求心力と賑わいづくりなどについて考えていきます。
10/21 (金)	久留米工業高等専門学校 一般科目理科系 教授 松田 康雄 久留米の和算	江戸時代に日本独自の数学「和算(わさん)」が発達しました。久留米では、第七代藩主有馬 頼庸(ありま よりゆき)が藩主を勤めながら和算の研究をし、和算が栄えました。講座では、和算、和算の歴史を紹介するとともに、和算の問題にチャレンジしたいと思います。
10/25 (火)	久留米工業高等専門学校 一般科目文科系 講師 藤木 篤 久留米を中心とした日本住血吸虫病対策史とその今日的意義 :「地方病」から「顧みられない熱帯病」へ	筑後川中流域は、かつて日本住血吸虫病が蔓延する土地でした。対策に取り組んだ結果、この病気は日本から姿を消しました。しかしこの寄生虫症は、世界規模で見れば未だ克服されておらず、「顧みられない熱帯病」のひとつとして、現在でも世界中で人々を苦しめています。久留米を含む日本の経験は、「顧みられない熱帯病」対策に活かせるでしょうか。講義では、この点について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
10/28 (金)	久留米大学 非常勤 河内 俊英 地域の資源を生かした健康都市づくりを目指す	現在多くのヒトは、バランスの良くない食生活とストレスの多い生活をしています。久留米には豊かな農産物があり、また森林浴の場もあり、さらに医療機関も揃っています。これらの資源を生かした健康都市づくりとその課題を考えてみます。
11/8 (火)	久留米大学 経済学部 講師 藤谷 岳 再エネで地域を元気に! -事例に学ぶエネルギー転換の意義と課題-	昨今、全国各地で再生可能エネルギー設備が見られるようになりました。しかし、再エネの普及は、その設備が立地する地域に何をもたらしてくれるのでしょうか。再エネに取り組むことが地域の発展につながるようになっていくためにはどうしたらよいのか、国内外の事例に学びながら、考えていきたいと思います。
11/11 (金)	久留米工業大学 工学部 准教授 渋谷 秀雄 我々の生活を支える精密・微細加工	我々が日常的に使っている携帯電話やパソコン、デジタルカメラ、自動車などに使用されている半導体・光学部品にはマイクロメートル(1/1000mm)やナノメートル(1/1000000mm)の精度で超精密に加工されています。本講義では超精密加工の事例を紹介いたします。
11/15 (火)	久留米工業大学 工学部 教授 吉谷 修 南筑私学校柔道師範“西郷四郎”の足跡を辿って	西郷四郎は、小説“姿三四郎”のモデルとしても知られる講道館柔道創始期の柔道家ですが、意外にも柔道師範として公的に記録されているのは、久留米市に設立されていた南筑私学校のみです。数少ない資料ではあるが、西郷の足跡を辿りつつ、西郷の人物像や当時の久留米の教育界の様子などについて思いを馳せてみたいと思います。
11/18 (金)	久留米工業大学 工学部 教授 佐々木 良勝 多面体と折り紙の数理	正多面体はすぐれて数学的な対象であり、数学そのものの象徴とされることすらある。その拡張たる準正多面体も起源は古いが、工学や医学に应用を持つ現代的テーマでもあります。これを紹介します。 ・正多面体を折り紙で実際に作ってみます。 ・準正多面体の定義と化学に現れる例を紹介します。 ・多面体の性質を数学を使って調べてみます。
11/22 (火)	久留米信愛女学院短期大学フードデザイン学科 准教授 生地 暢 自然の活かし方を考えてみよう	中核都市でありながら、筑後川、耳納連山をはじめとする自然が多く存在する久留米。私たちの生活に身近にある自然を知り、グリーンツーリズム等その活用方法について、考えてみましょう。
11/25 (金)	聖マリア学院大学 看護学部 講師 井手 悠一郎 エビデンスを作る調査研究とそれを支える統計手法	医療分野ではEvidence Based Medicine (EBM) という言葉が用いられますが、近年他の分野においても『エビデンス』と言う言葉が用いられるようになってきました。このエビデンスを作っていく上で重要となる調査手法や統計手法について解説を行います。
11/29 (火)	聖マリア学院大学 看護学部 講師 小浜 さつき 久留米市の健康な街づくり 脳卒中を予防しよう!	脳卒中は、日本人の死因の第4位、寝たきりの原因としては1位の疾患です。脳卒中は、運動麻痺や高次脳機能障害などの後遺症を来し、日常生活を大きく変化させます。若い世代からの脳卒中の予防と早期発見が、重症化を防ぐために重要です。脳卒中を予防するための生活の注意点や、脳卒中を早期に発見するための知識、脳卒中になったあとの暮らしやすい街づくりについて検討します。

開講時間 18時30分から20時00分 **申込期間** 9月8日(木)～各講義当日まで

出願手続 学生の皆さんの履修や出願手続等については、所属校の窓口にお問合せください。

- ★ 久留米大学 御井学舎事務部教務課 TEL: 0942-44-2071 / FAX: 0942-43-4413
- ★ 久留米工業大学 学生サービス課 TEL: 0942-22-2345 / FAX: 0942-21-8770
- ★ 聖マリア学院大学 教務課 TEL: 0942-35-7271 / FAX: 0942-34-9125
- ★ 久留米信愛女学院短期大学 教務課 TEL: 0942-43-4532 / FAX: 0942-43-2531
- ★ 久留米工業高等専門学校 学生課 TEL: 0942-35-9314 / FAX: 0942-35-9319

市民の方は受講無料。お申込みは、以下のサテライト・キャンパス事務室までお願いします。

サテライト・キャンパス事務室 TEL/FAX: 0942-32-7622 E-mail: info@consortium-kurume.jp

開催会場 くるめりあ六ツ門 6F
みんなる会議室1・2
(久留米市六ツ門町 3-11)

